

凡事徹底・活力・環境

# 五小だより

<http://5s.hvama.andteacher.jp>

令和 7年 1月 8日

No.10

東大和市立第五小学校

TEL (042)562-1981

FAX (042)590-7022

校長 平松 新太郎

## ～一年の計は元旦にあり～

令和7年が始まりました。夏休みから2学期にかけては、地域の行事や学校行事が続き、これまでも増して保護者・地域の皆様にお世話になりました。ありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、一昨日、プロゴルファーの松山英樹選手が今年の初戦をツアー新記録で優勝しました。松山選手はホールアウト後のインタビューで勝因を2つ挙げました。1つ目は2位の選手が追い上げてくるのが分かっていたのでスコアを出さないと逃げきれないと思っていたこと。2つ目はオフシーズンにすごくりフレッシュ（年末は体調不良で練習ができなかったそうですが）できて、ここからがスタートだという気持ちで試合に臨めたことです。

私はこのニュースを見て、「一年の計は元旦にあり」という言葉を思い出しました。私も、子供の頃から度々言われてきた言葉です。新年を迎えるにあたり、気持ちを新たにしっかりと計画を立てることの大切さを説いている、そのように理解していました。学校では、年度始めや各学期の始めも似たような状況です。

ところが、私はせっかく立てたはずの目標を、年末や学期末にはすっかり忘れてしまうような子供でした。定期試験の後など、「次こそ頑張ろう」と毎回思っていました。当時は同じ失敗を何度も繰り返していました。

考えられる原因は2つあります。一つは目標が曖昧だったこと。もう一つは振り返りの頻度が足りなかったことです。例えば、『漢字を頑張る』では何をどう頑張るのか分かりません。したがって、目標に向けて何をどうするのかその手立ても不十分になってしまいます。取組の途中でそれを振り返る術もなく、ただ、今日は点数が良かった、今日は悪かったなど、何となく学習に取り組むことの繰り返しだったように思います。

松山選手は大会三日間の中でも、他の選手の状況に応じて、自らのプレイをその都度振り返り修正していました。振り返りの頻度が低いと修正のタイミングを逃してしまいますが、短期間での振り返りは行動修正にとっても効果的であることが分かります。また、大会が始まる前の年末、心身とも計画的にリフレッシュしていたようです。

令和7年の始まりにあたり、ご家庭でも、お子さんと今年の目標について話し合う時間をとっていただくとともに、普段の会話の中に、定期的な振り返りも入れていただければ幸いです。そして、お子さんのご家庭での様子や学校での様子も共有させていただければと思います。

3学期は年の初めであると同時に、年度の振り返りの時期でもあります。どうぞよろしくお願いいたします。

末筆になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。